

徳建協発第 21 号
平成 28 年 6 月 13 日

株式会社深松組
代表取締役社長 深松 努 殿

一般社団法人徳島県建設業協会
会 長 川 原 哲 博



『平成 28 年熊本地震と東日本大震災から 5 年間』
特別講演会の講師について(依頼)

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災発災から 5 年が過ぎ、復興事業も進んでいることと存じます。

さて、今年 4 月の熊本地震は、前震・本震の区別が難しく、さらには、発生から現在に至り余震が頻発するなど、これまでに経験したことのない地震であり、改めて社会資本の整備と災害対応の重要性や「地域をまもる」という建設業界の担う役割の大きさを再認識することになりました。

また、徳島県では南海トラフ巨大地震の発生する確率は 30 年以内に 70%とされています。東日本大震災や熊本地震の被災の惨状は、発生が迫る西日本太平洋沿岸地域の将来の姿であり、特に、徳島県にとって危急存亡の瀬戸際に立たされていると言っても過言ではありません。

今、私たちはこの教訓を活かし、防災や減災対策等、喫緊の課題として取り組まなければならないことから、標記講演会を下記のとおり企画いたしました。

つきましては、業務ご多忙とは存じますが、ご来徳いただき、発災から 5 年間の活動概要や復興状況等をご教示いただけますようお願い申し上げます。

記

- 1.日 時 平成 28 年 7 月 14 日 (木) 午後 2 時～
- 2.場 所 徳島県建設センター 7 階 会議室
徳島市富田浜 2-10 Tel.088-622-3113
- 3.講演内容 東日本大震災から 5 年間
東日本大震災発災直後の道路啓開など地域建設業の活動や発災から 5 年間、現在に至る復旧・復興活動等をご教示ください。
※詳細は別紙をご参照ください。

(別紙)

『平成 28 年熊本地震と東日本大震災から 5 年間』
特別講演会次第(案)

平成 28 年 7 月 14 日
午後 2 時～4 時 50 分
徳島県建設センター7 階 鶴の間

1. 開会

2. 挨拶

3. 特別講演

(1) 平成 28 年熊本地震について (14:00～ 70 分)

【内容】

熊本地震による道路、橋梁、宅地などの被災状況や、四国地方整備局や徳島県県土整備部のとった復旧支援活動等の報告・説明。

【講師】

- ・四国地方整備局企画部 総括防災調整官 泉川暢宏 氏
- ・徳島県県土整備部 被災宅地危険度判定士 堀 英彦 氏
- ・徳島県県土整備部 被災建築物応急危険度判定士 上松祐司 氏

(2) 東日本大震災から 5 年間について (15:10～ 80 分)

【内容】

東日本大震災発災直後の道路啓開など地域建設業の活動や発災から 5 年間、現在に至る復旧・復興活動や大震災を教訓とした防災に対する取り組みなどの紹介。

【講師】

- ・(一社)仙台建設業協会 副会長 深松 努 氏

4. 質疑応答

5. 閉会